

明日、キーパーソンがいなくなる
(親)
た、その時の、継続した支援
の維持が、ムダかしくなったり、
するところがある。

施設として親に、親として
施設に、伝える「ツール」等が
あれば、教えて頂けたら、
各地域等、のとりくみが、あれば、
面白い。

G・Hの
施設に、終の住処に
するにあたり、何が必要か
検討する必要があるのか

親 斑鳩町 虫の息
甲川 修三

グループホーム入居者
の「さか」が、地域の
中で暮らすこと。
(単発、最重度、重複障)
をもち、にちが、多く地域
の中で暮らせる社会づくりを促す。

- 高齢化して、いく
G・H生活での医療対応
- 高齢化に伴うG・Hで
生活を続けられるか
(終の住処にしたい)

梅崎 洋子

グループホームが、終の住処に
なしてほしいが...

今はグループホームに居る今
入所を考えたほうがいいのか?

グループホーム = 重度身心
障害者に、より生活が
できるか、親元を
離れたらいいのか、

「地域で暮らす」とは、本当の意味で考えれば
は、(例)地域の医師に診てもらえないのは
地域で暮らすには、と、言えるか。
家、グループホーム、施設、で生活するのは、人々
だが、本当の意味での「地域で暮らす」とは
考えにくい。職員として、自身が「地域で
住民として生活しているのか。職員として
地域で暮らすことができるか(行動力、発想力、柔軟
性)を、持っているか。という、と、考える機会と
なりました。

~~朝7時から~~
朝10時以後 朝7時
半まで、だれもいないので
しんぼりです

田元美恵子

重症に身障害児者と

いわゆる人々のくらの認知度が低い。地域を知らせて。互いに支え合えるようにしてほしい!!
と思います。

グループホームには、生活の場を
作ることは、親が抱えている
ような不安を/含めて
社会に「=く=く=く=」と
違うように思ってもらえるように
どう考えるか?

○今現在グループホームは
考えていける。知りには
○受けれるサービスを
ながら自分で生活が
できる。最後は
⇒ ~~親~~ 最後は入所?

○グループホームについて
詳細な勉強
事をもっと知り

たいです。

○将来の暮らし方についてどう
暮らし方があるか知りたいです。

○現在の生活から考える
充実した今後の設計
のため。

グループホーム以外
での生活支援の
あり方の型の情報
提供がほしい。

おとせ

枚方の場合現在の所
年をとった後このまま
グループホームにいる
ことの本来的という保障が
ないのが、心配。

看取りを行って、その
後の話し合い
たいです。

- グループホームで医療的ケアができるようになって欲しい。
- グループホームが終の住処になるために何が必要か。
- グループホームが終の住処になってほしい。

365日夢のグループホームが出来て欲しい。

中村 勉子

気になっていること

- ・ 生活介護の事業所での人の問題 豊かな内容の作業となっているか
- ・ 60才あっても通所するのかわかり 体力はあるか
- ・ グループホームでの生活 我が家のようなほと出来る場所と共に個室思いが出来る場所となっているか
- ・ 高齢者と同じとなる共生となってもひとりひとりが豊かに暮らせる場にしてほしい
- ・ もっと一緒に働いてくれる人材を育てること
- ・ 普通の感覚と全くないような介護と!

人財施設も必要です。

医療的ケアも受けられる
制約ができておけるように。

GHの職員の養成が

今後必要に乏しい
では無いでしょうか!

これから、みんなと

話し合いたい。

色々な立場の人と話し合いたい。

協力してほしい。

お願いしたい。

「この子を世の光に」

の実現できる社会

を作らなければなりません!

||

平和な社会

山下 和子

- 親亡き後の事ですが、何年後に安心出来るか心配です。

GHの多様化を

どう進めるか。

(一人一人にあったGHづくり)

人材

親がいなくなった時に
支援の軸になる人、
キーパーソンと誰か？
医療対応、金銭管理、
介護、行政とのつきあいを
誰が軸になっていくか？

相談支援員
ケアプラン ^{継承}
充実した個人への ^{継承}
的ケア 相談お人
がほしい、障害対応

今村 美幸
専門職の意識の
高まりは
(施設・地域において
意識の差が大きい)

地域によってサービスの質が大
きく変わっている事が目につ
きました。また利用者への
最後おつきあいで専門員か
~~た~~らなければいけません
といけたいと思っていました。

今村 美幸
障害者の暮らしと
逆らう努力の重要性
親の思い
専門職も目を向けよう
専門職は、意識を高めたい。

- 山 達朗
- ・介護者の人材不足
 - ・家族の先の見通しの不安
 - ・グループホームの体制
 - ・医療との連携

人材確保の困難さ
新卒で来ません。全くと云
ませんが他では勤まらなくなった
が多く、^{ごまか}離職者も多い。
入る
せりり人の確保ができずと
話が合わりません。

福祉系の大学生に接して学
福祉施設等への進路先
は希望が薄い。
^{希望}契約へと移行し、^{入所者}一人ひとりに
とて(家族)良かった面と今後
制度上の改善が見えてくるように
思います。(具体像はいろいろある)

適切な人材を見つけ育てることの
重要さを具体的に示していくことが
必要だと思います。

医療

医療が大切

ケルゴホウに入ると
とくに

医療的ケアが必要
な重度者の施設を
作っていくにはどうして
行った方がいいのか？
具体的に考えて行ける
環境を急いでつくろう

大学、学生ボランティア、バイトから
人材育成につながる。
医療との連携

たら良いのか、考えて
行きたい

病気になる場合
受け入れてもらえる
病院が増えるには
どんな事が必要になるか。
医療制度

医療ケアについて
学ぶ研修についてもう少し
知りたい。

GHの高齢化に対する今後の
対策や数年後にはどうなるか。
病気になる時の今後の転居の
ほしへの不安。

第2回 学習会にも是非
参加したいです。

きょうさんの老舗の法人などの
GHで高齢の障害の方を
支えているところはありますが、
医療の必要性というのには
まちまちの様です。
重いの方だと、在宅で生活されては
時にガッツリかかりつけの医師や
訪問と関わりがみょうな方は
後のサポートも比較的スムーズ
なようです。